

2020年度 研究センター事業報告書

研究センター名	東アジア平和協力研究センター
---------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうだけでわかりやすく記述してください。

2020年度の事業は予期せぬコロナ禍により、特にシンポジウム・セミナー・研究会といった、通常対面で行うイベントの変更を余儀なくされた。しかしながら、Zoomを活用したオンライン形態あるいはオンラインと対面のハイブリッド形態で2019年度以上の活発な研究活動を行った。また、出版事業とホームページによる研究情報の発信にも注力した。

1) シンポジウム、学術セミナー・研究会、講演会(計:26回)**【シンポジウム: 3回】**

① Networked Indo-Pacific and Future of East Asian Security

日時: 2020年9月21日—22日 場所: Zoom

② The US 2020 Elections: Implications for the Indo-Pacific

日時: 2020年11月6日 場所: Zoom

③ 日韓関係とジャーナリズムの役割

日時: 2021年3月18日 場所: 立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム

【学術セミナー/会議/研究会: 21回】

① 最近の北朝鮮の情勢と南北関係の展望

日時: 2020年8月6日 場所: Zoom

② 日韓関係戦略会議

日時: 2020年11月27日 場所: Zoom

③ バイデン時代の東アジアの協力—日中韓の観点—

日時: 2020年12月14日 場所: Zoom

* 主要イベント3件のみ記載。これら以外のイベントについては、本報告書4-5ページを参照。

【講演会: 2回】

呉泰奎総領事講演会「韓日関係と関西」

日時: 2020年12月22日 場所: 立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム、Zoom 中継

* もう一方の講演会は本報告書5ページを参照。

2) 出版事業

東アジア平和協力研究センター叢書として、以下2冊の研究書を2020年12月に刊行した。

① 韓基範(Han, Kibum) 著、「Kim Jong-un's Economic reform in North Korea」

② 李貞澈(Lee, Jungchul) 著、「US-DPPK Confrontation in a New Dimension」

3) ホームページ

日米韓の3カ国語の「専門家コラム」を開設し、東アジアを取り巻く国際関係に精通する専門家・学者9名のコラムを掲載。

(Asia Insight / Washington Report / North Korea Watch)

① 日本語サイト「専門家コラム」: 3件 (Link: <http://www.ritsumei.ac.jp/research/ceapc/insight/>)

② 英語サイト「EXPERT ANALYSIS」: 26件 (Link: <http://en.ritsumei.ac.jp/research/ceapc/insight/>)

③ 韓国語サイト「전문가 컬럼」: 3件 (Link: <http://en.ritsumei.ac.jp/research/ceapc/kr/insight/>)

4) その他

本年度の研究活動にあたり、10カ国100名の専門家の方々にご協力頂き、センターの学術ネットワーク構築に寄与頂いた。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2021年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
センター長	中戸 祐夫	国際関係学部	教授	
運営委員	崔 鎮旭	衣笠総合研究機構	客員研究教員(教授)	
	森 類臣	衣笠総合研究機構	客員研究教員(准教授)	
	関 智焄	衣笠総合研究機構	客員研究教員(助教)	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)				
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員			
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	大学院生	張 瑛周	国際関係学研究科	博士課程後期課程
		馬場 一輝	国際関係学研究科	博士課程後期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)				
客員協力研究員	田惠媛(Hae-Won JUN)	Institute of Foreign Affairs and National Security, Korea National Diplomatic Academy	Associate Professor	
	大久保 史郎	立命館大学	名誉教授	
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	Kyunghwa Lee	Soongsil University	Visiting Research Fellow	
研究所・センター構成員	計 9 名	(うち学内の若手研究者 計 2 名)		

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2021年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	森 類臣	ポストコロナ時代の東アジア（アジア遊学 253）	共著	2020年10月	勉誠出版	玄武岩、藤野陽平、王冰・牛静、伍嘉誠、上水流久彦、渡辺浩平、森山至貴、辻本篤、宮岡真央子、斎藤巧弥、芳賀恵、趙慶喜、陳昌鳳、天田顕徳、鈴木正崇、井上順孝、三尾裕子、李賢京	p.10-22
2	森 類臣	다르고도 같은 북의 예술이야기（違っても同じ北の芸術の話）	共著	2020年11月	4.27 시대（4.27時代）	전영선, 김은정, 배인교, 모리토모오미, 김채원, 이철주	p.179-208

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	中戸 祐夫	Security Cooperation Between Japan and South Korea on the North Korean Nuclear Threat: Strategic Priorities and Historical Issues	単著	2020年8月	Pacific Focus, Volume35, Issue2		p.307-333	有
2	中戸 祐夫	日韓経済紛争の政治学—経済制裁論からみる日本の対韓輸出管理強化措置	単著	2020年12月	国立政治大学国際関係研究センター、問題と研究、49巻4号		p.77-114	有
3	森 類臣	The Samjiyon Orchestra as a North Korean Means for Gender Based Cultural Diplomacy	単著	2020年4月	The British Association for Korean Studies, European Journal of Korean Studies, Volume 19, No2		p.57-82	
4	森 類臣	韓国ジャーナリズムの最前線—オルタナティブ・メディアによる「公共圏」をめぐる闘い	単著	2020年7月	岩波書店、『世界』、935巻		p.195-205	

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	中戸 祐夫	北東アジア情勢の変化と南北関係	2020年11月	北東アジア情勢変化と未来志向的な韓日関係、大韓民国大阪総領事館	
2	中戸 祐夫	米国大統領選挙以後の北東アジア情勢—米中関係、南北関係、日韓関係へのインプリケーション	2020年11月	日韓戦略対話、ZOOM	
3	中戸 祐夫	バイデン時代の米中関係と朝鮮半島非核化—日中韓の協力の可能性	2020年12月	バイデン時代の東アジア協力—日中韓の視角、ZOOM	
4	中戸 祐夫	中戦略競争下での日韓関係の展望（韓国語）	2021年2月	米中戦略競争と東北アジア秩序（韓国語）、ZOOM	
5	森 類臣	新型コロナウイルス感染症に関する日本の主流メディアの報道姿勢	2020年4月	韓国放送学会 日米韓国際ウェビナー（Webinar）「COVID-19とジャーナリズム：持続可能社会のための提言」	
6	森 類臣	日本における COVID-19 拡大とジャーナリズム	2020年4月	北海道大学緊急座談会（ウェビナー）「ポストコロナ時代の東アジア～新しい世界のコミュニケーション」	
7	森 類臣	日本における北朝鮮音楽の研究現況（原題：일본지역 북한음악의 연구현황）	2020年8月	第6回北朝鮮音楽学術大会 北朝鮮の民族音楽遺産（主催：韓国文化体育観光部、主管：韓国国立国楽院）	

8	森 類臣	Covering Korea: 日本マスメディアによる対南北朝鮮報道の特性と展望	2020年9月	韓国放送学会主催 日韓国際ウェビナー (Webinar) 「朝鮮半島の平和定着のための相互理解とコミュニケーション」	
9	森 類臣	韓日関係関連報道をどのように受け入れるべきか?	2020年12月	駐大阪大韓民国総領事館主催講演会 「한일관계와 언론보도 (日韓関係とメディア報道)」	
10	森 類臣	文化・芸術と“人民”の日常	2021年3月	講演会「北朝鮮に行く IV」(北海道大学メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター)	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	共同学会議「コロナ以降東北アジア秩序の展望と韓国の対応」	ZOOM	2020年5月	10名	韓国国際政治学会
2	研究会「北朝鮮との交渉過程と新しいモデルの模索」	BM ビルソジェ会議室 (韓国)	2020年5月	7名	
3	研究会「インターネットを活用した北朝鮮研究と北朝鮮情勢」	ZOOM	2020年7月	10名	
4	共同主催国際セミナー「最近の北朝鮮の情勢と南北関係の展望」	ZOOM	2020年8月	20名	CSCS (戦略文化研究センター)
5	共同セミナー「東北アジアの秩序変化と日韓関係」	戦略文化研究センター会議室 (韓国)	2020年9月	10名	CSCS (戦略文化研究センター)
6	研究会「朝鮮半島地域研究における「勘所」のつかみ方ープロパガンダから現実を読み取る力をどうやって付けるか」	ZOOM	2020年9月	10名	
7	Virtual Seminar "A Networked Indo-Pacific and Future of East Asian Security"	ZOOM	2020年9月	20名	Korean Association for International Studies, Center for Strategic and Cultural Studies
8	研究会「日韓会談反対運動に関する日常史研究 (1960~1965年)」	ZOOM	2020年9月	10名	立命館大学コリア研究センター
9	共催セミナー「韓国外交安保と戦略文化」	戦略文化研究センター会議室 (韓国)	2020年10月	10名	CSCS (戦略文化研究センター)
10	研究会「社会科学としての北朝鮮研究の課題」	ZOOM	2020年10月	12名	
11	Virtual Seminar "The US 2020 Elections: Implications for The Indo-Pacific"	ZOOM	2020年11月	20名	The Center for Strategic and Cultural Studies
12	共催セミナー「韓国外交安保とネットワーク戦略競争」	戦略文化研究センター会議室 (韓国)	2020年11月	10名	CSCS (戦略文化研究センター)
13	共同セミナー「朝鮮半島の非核化の展望と解放」	ZOOM	2020年11月	10名	韓国核政策学会
14	日韓関係戦略会議	ZOOM	2020年11月	20名	日本研究センター (韓国)
15	研究会「北朝鮮政治研究方法論」	ZOOM	2020年11月	7名	
16	日韓関係研究会	ZOOM	2020年12月	15名	立命館大学コリア研究センター
17	研究会「2020年の北朝鮮情勢と今後の展望」	学術館研究会室1	2020年12月	6名	
18	研究会「最近の日韓関係および日朝関係」	早稲田大学	2020年12月	10名	
19	国際学術セミナー「バイデン時代の東アジアの協力ー日中韓の観点ー」	ZOOM	2020年12月	20名	
20	研究会「国連制裁後のロシアの北朝鮮労働者ー沿海州地域を中心に」	学術館研究会室1	2020年12月	5名	
21	日韓共同学会議「現代の日韓関係をめぐる課題」	ZOOM	2020年12月	20名	立命館大学コリア研究センター
22	呉泰奎総領事講演会「韓日関係と関西」	創思館カンファレンスルーム (ZOOMによる同時中継)	2020年12月	150名	立命館大学コリア研究センター
23	特別講演会「東アジアと帝国化する日本ー平和・連帯・人権の思想ー」	ZOOM	2021年1月	20名	立命館アジア日本研究所
24	戦略文化研究院セミナー「米中戦略と朝鮮半島の戦略文化」	済州統一教育センター	2021年2月	10名	CSCS (戦略文化研究センター)、済州統一教育センター

